

タンポポの香り

校長 山口 学

5月に入り、新緑が眩しい季節となりました。いろいろな花が咲き、木々の緑も次第に鮮やかさを増してきて、夏の到来を予感させてくれます。虫たちの姿もたくさん見られるようになりました。また、夜になると、どこからともなくカエルの鳴き声が聞こえてきます。学校でも新学期がスタートして様々な教育活動が動き始め、子どもたちも元気よく取り組んでいます。

さて、先月、交通安全教室が行われました。正しい歩行の仕方や自転車の乗り方などの交通ルールを知ること、日常生活で交通安全に注意して行動することがねらいでした。子どもたちは、警察の方の話をしっかりと聞くことができました。歩く時も自転車に乗る時も共通して大事なことは、「確かめること」です。歩いて横断歩道を渡る時、自転車に乗って走り出す時は、顔をしっかりと動かして左右の安全を確認することが大事だそうです。確認する習慣を小学生のうちにきちんと身に付けることで、大人になってからも交通安全を実践できると強調してくださいました。

また、子どもの交通人身事故で多いのは、道路横断中、自宅付近、夕方の時間帯、自転車の事故等と言われています。右は、県から出ている指導事項です。子どもたちには、歩く時や自転車に乗る時に気を付けることをしっかり守ってほしいですし、互いに注意し合ってほしいです。保護者や地域の皆様からも、これまで同様、子どもたちを見守り、時には注意していただきたいと思います。

<歩く時に気を付けること>

- ◎ 車道への飛び出しをしない。
- ◎ 交差点では必ず止まり、左右を確認して横断する。

<自転車に乗る時に気を付けること>

- ◎ 自転車安全利用五則をしっかりと守る。
- ◎ 青信号でも油断せず、一時停止と安全確認を確実に行う。
- ◎ 自転車乗用者が加害者となる場合もあることを理解し、責任ある走行を心がける。

そして、交通安全教室の最後には、今日学んだことを実際の生活できちんと守ってほしい、一人で歩いたり自転車に乗ったりする時は自分で自分の命を守らなくてはならない、というようなお話を聞きました。自分の身は自分で守るということは、交通安全だけに限りません。火災や地震、津波等の災害についても同様です。どれだけ注意しても、しっかり訓練をしても、想定外の事故や災害は起こるものです。そのような時、最後に頼れるのは自分自身の対応力と周囲の人と助け合う力です。最近、歩道の脇や広場、空き地など人に踏まれそうな場所に、健気に咲いているタンポポを見かけます。どんなに重いもので踏まれても生き延びる強さがあります。また、タンポポの香りは人間には分かりませんが、ハチなどの昆虫には分かります。タンポポの種類によりますが、受粉をして子孫を増やすために虫の力を借りています。お互い生き延びるために助け合っているのですね。